

# 第5章 計画の推進 (本編 P84 ~ P86)

## 計画の進行管理と評価

地域福祉計画の対象となる事業が広範囲にわたるとともに、各分野別の計画とも関連が強いので、計画の進行管理や評価等にあたっては、庁内関係部局で構成する「あまがさきし地域福祉計画」庁内推進会議において、次の指標をもとに、評価、進行管理を行います。

また、尼崎市社会保障審議会地域福祉専門分科会において、毎年、取り組み状況の評価等について報告を行い、取り組みの妥当性の検証や必要な改善策、評価方法の見直し等について検討を行います。

	展開方向ごとの評価指標	基準値	方向性
<b>基本目標1</b> 支え合いを育む人づくり	(1) 福祉学習の推進		
	① ボランティア活動などの地域の支え合い活動に「興味・関心がある」と答えた市民の割合	74.1%	↑
	② みんなの尼崎大学と連携し、福祉に関して体系的に学ぶことのできる福祉コースの受講者数	—	↑
	(2) 地域福祉活動の担い手の発掘・育成・支援		
	① ボランティア活動など地域の支え合い活動に参加する市民の割合	12.1%	↑
	② あまがさきチャレンジまちづくり事業補助への申請団体数	51団体	↑
<b>基本目標2</b> 多様な主体の協働と参画による地域づくり	(3) 地域福祉活動を支援する人材の育成		
	民生児童委員及び福祉事業者が普段の活動の中で相談、協力を求める先として「地域福祉活動専門員」を選択した割合	(民生児童委員) 15.8% (福祉事業者) 18.4%	↑
	(1) 地域を支えるネットワークづくり		
	(仮称) 地域福祉ネットワーク会議の設置数	—	↑
	(2) 地域での見守り・支え合いの充実		
	① 担当区域で地域福祉活動が行われていると答えた民生児童委員の割合	68.0%	↑
	② 高齢者等見守り安心事業及び高齢者ふれあいサロンの実施数	—	↑
	③ 食や学習支援などを通して子どもに寄り添う地域の居場所の数	5か所	↓
	④ 孤立感を感じている市民の割合	35.9%	↓
	(3) 多様な手法による地域福祉活動の推進		
	① 小地域福祉活動実施団体数 (延べ)	658 件	↑
	② あまがさきチャレンジまちづくり事業補助への申請団体数	51団体	↑
③ ソーシャルビジネスの支援数	—	↑	
(4) 社会福祉法人・企業・NPO等による地域貢献の推進			
地域において何らかの活動に「取り組んでいる」と答えた福祉事業者の割合	—	↑	
<b>基本目標3</b> 誰もが安心して暮らせる暮らしを支える基盤づくり	(1) 包括的・総合的な相談支援体制の充実		
	① 困り事があった時に「相談できる人はいない」「相談しようと思わない」と答えた市民の割合	3.7%	↓
	② 自立相談支援窓口で相談した市民の割合	0.0015%	↑
	(2) 権利擁護の推進		
	成年後見制度利用支援事業の利用者数	51人	↑
	(3) 適切な福祉サービスの提供と情報利用の推進		
	① 福祉事業者が地域へ福祉等に関する情報発信をしている割合	28.8%	↑
	② 意思疎通支援事業の利用者数	80人	↑
	(4) 要配慮者(災害時要援護者)支援の推進		
	① 地域にお住まいの要配慮者(災害時要援護者)の避難支援のために日頃から「取り組んでいる(取り組もうとしている)」と答えた市民の割合	(市 民) 22.2% (民生児童委員) 82.1% (福祉事業者) 75.2%	↑
② 要配慮者(災害時要援護者)支援協力団体数	—	↑	
(5) 安全・安心に暮らせる環境整備			
日常生活を安心して過ごすことができていると感じている市民の割合	58.8%	↑	